

アナウンス・朗読部門で

予選当日公的な理由により出席できない際の扱いについて

放送コンテスト委員会

■ 基本方針

申し込み時に申し出のあった生徒について、以下の特別配慮を行う。

- ① プログラム上で時間を調整することで対応する（午前の早めにする／午後の遅めにする 等）
- ② ①が無理な場合は、別日に録音会を実施する

■ 具体的な方法

1 申し込み時

- ・申し込み用のExcelシートの備考欄に、その理由と、時間調整等の要望を記入する。
（例）簿記検定 午前の早めを希望 / 英検受験 午後の遅めを希望 / 校内模試 別日希望
- ・このときに申し出のなかった生徒については、特別配慮は行わない。

2 時間帯の調整で対応する場合（予選当日）

- ・プログラム通りに審査を行う。
- ・午後の遅めにした生徒については、受付時不在でも問題なしとする。

3 別日の対応とする場合

- ・6月1日（土）の午後、今宮工科高校で録音会を実施する。
時間帯は人数が確定してから連絡する（午後3時頃を予定）
- ・録音は、公開録音とし、コンテスト委員会が録音を担当する。
なお、一発録りとし、機器の不調で録音できなかった場合以外は録音直しをしない。
（録音中に救急車両のサイレンが入ったとしても録音直しをしない）
- ・録音されたものを予選当日に審査員が聴いて審査し、他の生徒と同じように結果を発表する。
- ・公開録音会当日は、生徒証等で本人確認を行う。さらに、公式理由を示すものを提示すること。
（例）英検等検定試験の受験票（6月2日実施であることがわかるもの）
- ・本人確認や理由がわかるものの提示ができない場合は、録音しないことがある。